

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	浄化槽設置整備事業	会計名称	一般会計		担当課	下水道課	
		予算科目	4 款 1 項 9 目	事業番号	5482	所属長名	角田 栄治
事業評価の有無	☒ 評価対象事業 ☐ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	岡市 裕二	
法令根拠等	浄化槽法、建築基準法、伊予市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱				実施期間	【開始】	平成 0 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造					【終了】	平成 年度(予定) ■ 設定なし
	潤いのある水環境づくり						
総合計画における本事業の役割	子どもからお年寄りまでが快適に生活できる環境を構築						
事業の対象	下水道等（公共下水、農業集落排水）の整備計画区域以外の市民、下水道整備計画区域内の公共下水道事業認可区域を除く区域の市民		事業の目的	河川、海等の公共用水域の水質保全や生活環境の改善を図ることを目的とする。			
事業の内容（整備内容）	・浄化槽の適正な設置及び維持管理を行う方を対象に、合併処理浄化槽の新設、汲み取り便槽または単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への設置替えに対し、伊予市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。・浄化槽整備特別会計に対する繰出金		昨年度の課題に対する具体的な改善策	引き続き広報等による周知を行うとともに、事業内容の見直し検討を行う。また、事業計画区域の見直しと合わせ地域での説明会開催についても検討を行う。			

事業活動の内容・成果（D0）

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	27年度実績	28年度予定	9月末の実績	28年度実績
財源内訳	直接事業費	28,988	38,702	△ 4,308	0	0	29,084	設置整備基数	基	31	50	7	31
	国庫支出金	2,771	4,689	0	0	0	2,801						
	県支出金	649	1,233	0	0	0	746						
	地方債	0	0	0	0	0	0						
	その他	0	0	0	0	0	0						
	一般財源	25,568	32,780	△ 4,308	0	0	25,537						
職員の人工（にんく）数		0.70	0.63				0.63						
1人当たりの人件費単価		8,042	8,086				8,086						
※ 直接事業費＋人件費		34,617	43,796				34,178						
主な実施主体		直接実施・浄化槽設置者		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）		浄化槽設置整備事業費補助金							
向こう5年間の直接事業費の推移（千円）						29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	5年間の合計		
						38,702	38,702	38,702	38,702	38,702	193,510		
成果指標	指標	整備率＝設置整備基数累計÷計画基数				単位	区分年度	27年度	28年度	29年度	目標	毎年度	
						%		目標	100	100	100	100	
	指標設定の考え方	循環型社会形成推進交付金事業実施計画において、H27～H31の5カ年で浄化槽（個人設置型）の設置整備を250基計画しており、計画基数に対する設置整備基数を成果指標「整備率」とする。				⇒	実績	62	62				
								指標で表せない効果					

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)			・広報4月号及びHPによる周知を実施。 ・事業内容の見直しについては、現在、検討中。						
事業 業務 事業 業 									

施策を踏まえた判断	二次判定	☐	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☐			
		☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		☐			
		☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐			
☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。				
☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。				
☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。				

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

の経営 最終者 判断議	事業の方向性	コメント欄	
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	